

## 平成 27 年度 第 1 回南城市地域交通会議 議事要旨

日時：平成 27 年 6 月 30 日(火) 14:00～16:00

場所：南城市役所 2F 玉城農村改善センター ホール

### < 出席者 >

団体名等	氏名	備考
南城市	座波 一	会長
琉球大学工学部環境建設工学科	神谷 大介	副会長
沖縄総合事務局 運輸部 企画室	山口 泰史	代理
沖縄総合事務局 運輸部 陸上交通課	古堅 宗安	
沖縄県 企画部 交通政策課	真栄里 嘉孝	
沖縄総合事務局 南部国道事務所	當山 全浩	
沖縄県 (南部土木事務所)	玉城 守克	代理
一般社団法人 沖縄県バス協会	慶田 佳春	
一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会	津波古 修	
私鉄沖縄県労働組合連合会	喜屋武 悟	
沖縄バス株式会社	大城 勇人	
株式会社琉球バス交通	大城 幸和	
東陽バス株式会社	普久原 朝啓	
南城市老人クラブ連合会	金城 文雄	代理
南城市民生委員児童委員連絡協議会	大城 宏光	
南城市区長会	渡慶次 昇	
南城市商工会	津波古 孝弥	
南城市観光協会	宮城 源幸	

< 議 事 要 旨 >

1.平成 26 年度実証運行結果及び現在の運行状況の報告について

発言者	発言
山口代理	登録者数で団体とは、イオンやユインチホテルなどが登録するのか。
事務局	区長さんやサークルの代表者が区民や会員の分をとりまとめて、人数分を登録しているものを団体として扱っている。施設からの登録はないが、観光客から依頼を受けて、施設の従業員が代行で、複数名の予約をすることがある。観光客は登録が不要で代表者と人数のみで予約が可能である。
慶田委員	有償運行で月 50 万の収入ときいたが、月当たりの収入と経費はどれぐらいなのか。
事務局	収入は約 50 万/月、支出は約 250 万/月だと思うが、確認して次回に報告する。
慶田委員	有償化により高齢者の外出が減るのはいかがなものか。原因は何か。300 円は高いのではないか。高齢者の運賃は検討してはどうか。
事務局	高いという声はあるが、多くはない。有償で利用しやすくなったという方もいるようだ。運賃については、今後、座談会やアンケートで意見を集めていく予定である。 高齢者の利用が減ったのは、無償時は、サークル団体での利用や、病院へのお見舞での利用が多かったが、有償で外出を控える方が多くなったのではかと推測している。
當山委員	予約が重なって場所が同じ方向なら、一緒に乗せていくのか。
事務局	乗合を目的としているので、ルートをうまく設定しながら複数の方を乗せていく。
山口代理	1 時間ごとに動く場合、始発地は全て同じか。
事務局	8 時は 3 台同じ場所から出発する。人数によってそれぞれの送迎し終わる時間が変わるので、終わったところの最寄りの休憩所で休む。または休憩なしで次の便に行く場合もある。
山口代理	利用者の需要によって、1 便はイオンから出発などの工夫はあるか。
事務局	現在はないが、需要があれば検討する。
神谷副委員長	費用と収入については、月ごとの収支はまとめる必要がある。昨年度の収支と今回の収支の差があるが、何が増えたのか。また、平休の乗車人数の平均はわかるか。また、通勤通学や高齢者については、アンケートの結果を踏まえるとあるがいつのアンケートなのか。
事務局	収支については、正確な数値をとりまとめて次回報告する。利用者数は、平日が約 60 人、休日が約 40 人。アンケートは、今年度、これから実施するアンケートを指しており、その結果を踏まえて検討する。

## 2. 平成 27 年度の進め方について

発言者	発言
津波古修委員	<p>タクシーの利用状況もアンケートに組み入れほしい。デマンドと他の交通機関との連携についてどうなっているか教えてほしい。利用者の平均が 2.3 人便なら大きなバスではなく、タクシーなどで対応できないか。費用対効果など客観的な分析が必要ではないか。有償後、市内の事業者にはヒアリングをしてどんな影響があったか確認してほしい。</p>
事務局	<p>登録者アンケートでデマンドやタクシーなどの利用状況や交通手段選択の背景を把握するようにしている。新たなアンケートで利用者だけではなく利用していない人の声も把握していきたいが、まずは、データは古いですが H18 のパーソントリップ調査を用いて、市民がどう移動しているのか基礎資料として整理する。</p> <p>車両についてはバスについては、経費がおさえられるコンパクトカーの導入を将来は検討していきたい。</p> <p>デマンドを遅くまで運行せずに、行きはデマンド、帰りはタクシー利用を促すといったことで連携を図れるのではないかと考えている。連携に向けて交通事業者へのヒアリングを検討している。</p>
古堅委員	<p>周辺市町村との連携とは、糸満市や八重瀬町と考えて良いか。</p>
事務局	<p>はい。今後協議を行っていききたいと考えている。</p>
山口代理	<p>生活交通確保維持改善計画策定業務について、いつ策定予定か。</p>
事務局	<p>これから公募を行い、新たにコンサルを選定する予定なので、具体的な時期は決まっていないが、イメージとしては、2 月中旬頃をメドに策定を終えて手続きをすすめたい。</p>
古堅委員	<p>運行、乗合事業の許可申請はしているのか。期限はあるのか。</p>
事務局	<p>免許の期限はないと聞いていますが、確認しておく。</p>
喜屋武委員	<p>既存のバス路線と重複するところもあるので、バス会社の料金も考慮して料金設定を検討すべき。</p>
事務局	<p>まずは、実態を把握する。例えば、時間帯によって料金変動している自治体もあるので、相互が理解した上で料金を決めていく。</p>
慶田委員	<p>交通事業者とおでかけなんじいとの乗り継ぎ場所等の協議を行った上で、乗り継ぎを呼びかけるステッカーのバス停への掲示をお願いしたい。</p> <p>高校生の通学に使われている糸満への路線には、補助をいただいて運行している路線もあるので、その点も考慮しながら検討してほしい。市を越える場合もバス会社と十分に協議してほしい。</p>
事務局	<p>市外へ出て行く路線バスもあるが炎天下で待つことも多いので、屋根付きなどの整備も検討していきたい。また、向陽高校の路線については、バス事業者と意見交換して進めていきたい。</p>

発言者	発言
古堅委員	<p>市外への路線の運行というのは、周辺市町村と協議をすれば無制限に路線を延長できるというものではない。既存の公共交通の利便性を高めるため、そこまで繋ぐという観点での延長は可能という趣旨である。</p>
普久原委員	<p>以前、向陽高校までは路線があったが、利用者が少なくなり廃線となった経緯がある。</p> <p>デマンドでの馬天入口までの利用者のデータがあるが、馬天営業所から遠いところは利用者が多く、近いところは利用者がいない状況となっており、路線バスの運賃よりもデマンド運賃 300 円が安いところの利用が多くなっているように見受けられる。デマンドの料金が安いとバス事業者は太刀打ちできない。なぜデマンドを利用したか尋ねると「運賃が安いから」という回答もあると思う。交通事業者への影響も考慮しつつ、高齢者の外出を促すという原点に戻って、検討してほしい。</p>
事務局	<p>町村合併で市内の移動が大変になり、若年人口の減少や、高齢者の増加でバス利用者が減少してきた。高齢者の外出や、外から観光客を呼び込むことで、市内を出歩く機会を増やすことを目的にデマンドを実施している。公共交通を利用しやすく、市内に訪れ、回りやすい環境をつくることで、公共交通全体の利用者を増やして、共存したいと考えている。</p> <p>また、南部東道路開通後の交通体系の検討も考える必要があり、デマンドは先行的な開通後の改善策とも考えている。</p>
神谷副委員長	<p>以前のアンケートで（おでかけなんじいの運行により）外出の機会が増えたとあったので、バスの利用がデマンドに変わったのではなく、外出機会の増加に伴い馬天営業所へ行くことが多くなったと捕らえたほうが良い。</p> <p>高校へ送迎したい親はほぼゼロだと思う。学生がどのように通学しているのか、どれぐらいの料金までなら負担できるのか、往復利用か片道利用かなど、ターゲットを絞って、どのような調査票にするかを検討してアンケートを行うべきである。</p>
神谷副委員長	<p>また、市町村の交通計画の最上位計画となる交通基本計画を策定し、全体の長期ビジョンをもっておいたほうが良いと思う。基本計画があれば、既存のバス・タクシー、デマンドではどう対応するかなど後の計画は作りやすくなる。</p> <p>また、ユインチホテルなどで団体客にデマンドを案内したり、店舗のHPなどにリンクを載せてもらったりしてデマンドを利用する仕組みづくりが必要である。また、滞在型観光を考えるなら 1 日乗車券も検討してはどうか。</p>